

平成 2 5 年 度

川崎市水道事業会計決算概況

川崎市上下水道局

1 平成25年度 水道事業会計決算概況

(1) 総括事項

水道は、市民の快適な生活や産業活動の進展に欠くことのできない都市の基幹施設であり、これまで、安全で良質な水を安定して供給してきました。

また、水需要については、人口が年々増加しているものの、家事用等の使用では節水型社会構造への変化から微増傾向にあり、大口の使用では産業構造の変化により減少傾向にあるため、水需要全体で見るとほぼ横ばいで推移しております。

また、近年、給水能力と配水量にかい離が生じていたため、平成18年度から、浄水場の統廃合を含めた再構築計画に取り組んでおり、あわせて基幹施設の更新や老朽化した管路の適切な維持管理及び更新を行い、東日本大震災を踏まえ更なる水道施設の耐震化にも取り組んでまいりました。

一方、財政面では、行財政改革などによる経費節減を推進したことにより、当年度純利益を計上しましたが、再構築計画が本格化していることから、単年度資金不足額が生じたため、累積資金の活用により対応いたしました。

今後も、再構築計画や施設の耐震化などに伴う建設改良事業を推進していくことから、累積資金の活用と水道経営の健全化に取り組んでまいります。

(業務の状況)

平成25年度末における給水人口は145万3,372人、給水栓数は80万8,224栓、普及率はほぼ100%です。

年間配水量は1億8,368万9,700^m³、1日最大配水量は平成25年7月7日に記録した54万9,600^m³です。

また、水道料金収入は税抜きで243億9,545万5,865円です。

(建設及び改良工事)

平成25年度の建設改良費の決算額は、前年度からの繰越事業費を加えて、93億6,487万1,610円となっております。

また、19億7,938万9,927円を平成26年度に繰り越しました。

主な建設改良工事として、耐震管路等整備事業費については、老朽化した管路の耐震化、更生などを行うもので、1号送水管1100mm更生工事等を施行しました。決算額は43億4,519万4,223円となっております。

施設再構築事業費については、再構築計画に基づき、長沢浄水場ろ過池機械設備工事、雨水調整池等築造工事、ろ過池電気設備工事等を施行しました。決算額は30億1,447万582円となっております。

その他の建設改良費については、潮見台生田送水管改良工事等の送・配水管の布設及び更新、鷺沼配水所配水池耐震補強工事等の諸施設の改良工事を施行しました。

2 平成25年度 水道事業会計決算総括表

(1) 予算執行状況

ア 収入（税込額）

（単位 円）

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益的収入	32,661,585,000	32,548,213,342	△ 113,371,658	99.7%
資本的収入	4,423,298,000	3,638,664,598	△ 784,633,402	82.3%
合計	37,084,883,000	36,186,877,940	△ 898,005,060	97.6%

イ 支出（税込額）

（単位 円）

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益的支出	31,951,086,000	30,823,441,665	△ 1,127,644,335	96.5%
資本的支出	16,000,926,742	12,553,358,183	△ 3,447,568,559	78.5%
合計	47,952,012,742	43,376,799,848	△ 4,575,212,894	90.5%

(2) 収益的収支・資本的収支

ア 収益的収支（税込額）

（単位 円）

区分	収入	支出	収支差引
収益的収支	32,548,213,342	30,823,441,665	1,724,771,677

収益的収支差額（税抜額） = 当年度純利益 1,303,078,208 円

イ 資本的収支（税込額）

（単位 円）

区分	収入	支出	収支差引
資本的収支	3,638,664,598	12,553,358,183	△ 8,914,693,585

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 8,914,693,585円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 406,276,192円、減債積立金 818,592,379円、過年度分損益勘定留保資金 5,792,594,464円及び当年度分損益勘定留保資金 1,897,230,550円で補てんした。

(3) 資金過不足額

ア 平成25年度単年度資金過不足額

（単位 円）

区分	金額	備考
当年度純利益（A）	1,303,078,208	<補てん財源等の内訳> ・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 406,276,192 ・当年度分損益勘定留保資金 6,693,637,325 減価償却費 5,464,661,447 固定資産除却費 1,148,614,236 たな卸資産減耗費 6,919,441 その他非現金支出 73,442,201 ・退職給与引当金等 86,798,358
資本的収支差額（B）	△ 8,914,693,585	
補てん財源等（C）	7,186,711,875	
単年度資金不足額（A）+（B）+（C）	△ 424,903,502	

イ 累積資金過不足額

(単位 円)

区 分	平成 24 年度 末	平成 25 年度 単年度	平成 25 年度 末
資金残額	12,548,536,383	△ 424,903,502	12,123,632,881
うち引当金	1,656,350,569	86,798,358	1,743,148,927

(4) 経営成績 (税抜額)

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	28,365,812,189	営 業 収 益	28,328,704,014
営 業 外 費 用	1,271,428,381	営 業 外 収 益	2,678,964,481
特 別 損 失	107,314,733	特 別 利 益	39,965,016
総 費 用	29,744,555,303	総 収 益	31,047,633,511
当年度純利益	1,303,078,208	当年度純損失	-
前年度繰越利益剰余金	4,280,998,971	前年度繰越欠損金	-
当年度末処分利益剰余金	5,584,077,179	当年度末処理欠損金	-

(5) 財政健全化法における資金不足比率の状況

会 計 名	資 金 不 足 比 率	経 営 健 全 化 基 準
水 道 事 業 会 計	— (資金不足となっていない)	20%

※資金不足比率は現段階での速報値である。

3 業務の状況

年度 項目	平成 25 年度	平成 24 年度	増 △ 減 (%)
給水人口(人)	1,453,372	1,440,416	(0.9 %) 12,956
給水柱数(柱)	808,224	796,866	(1.4 %) 11,358
普及率(%)	99.99	99.99	(0.0 %) 0.00
年間配水量(m ³)	183,689,700	184,894,500	(△ 0.7 %) △ 1,204,800
1日最大配水量 (m ³ /日)	(7/7) 549,600	(7/16) 543,900	(1.0 %) 5,700
1日平均配水量 (m ³ /日)	503,259	506,560	(△ 0.7 %) △ 3,301
年間有収水量(m ³)	165,671,579	166,673,894	(△ 0.6 %) △ 1,002,315
1日平均有収水量 (m ³ /日)	453,895	456,641	(△ 0.6 %) △ 2,746
有収率(%)	90.2	90.2	(—) 0.0 P
配水管の延長(m)	2,397,871	2,394,003	(0.2 %) 3,868
水道料金収入(円) (税抜額)	24,395,455,865	24,634,165,099	(△ 1.0 %) △ 238,709,234